

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第43号—

令和2年2月10日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

4年生にプレゼントをいただきました

1月29日（水）に更生保護女性会の皆様に御来校いただき、二分の一成人式を迎えた4年生に「しおり」をプレゼントしていただきました。手作りの温かみのあるしおりには、「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつや言葉を大切に、素直に育ってほしいというメッセージが込められていました。



このように、地域の皆様に子供たちの成長を見守っていただいていることに感謝いたします。

このように、地域の皆様に子供たちの成長を見守っていただいていることに感謝いたします。

1/2成人式おめでとう!! メッセージ

- ① 「ごめんね」と 勇気を出して仲直り
- ② その言葉 人の心が 傷つくよ
- ③ 「おはよう」で みんなに元気を配ろうよ
- ④ 「あそぼうよ」 みんなに声掛け 仲よくしよう!
- ⑤ 「ありがとう」その一言が うれしいよ
- ⑥ 十歳の あなたが 未来をつくるのだ
- ⑦ やめようよ! 悪口、陰口、こそこそ話

平戸更生保護女性会

津吉小学校の子供たちは「かしこい子」に育っています

12月に行われた市学力テストの結果が届き、その成績表を配布しています。学校ではその結果に基づき、それぞれの学年の課題となったところを重点的に、指導を進めているところです。津吉小学校全体としては、「全国平均」を数値目標にして取り組んだテストでしたが、6学年2教科（国語・算数）のテスト12項目のうち7項目（昨年度4項目）が全国平均を上回り、学力向上に向けての取組の成果が見られました。特に、算数の力が伸びています。

第14回平戸市小学生バレーボール大会

【第3位】津吉バレーボールクラブ



第45回平戸市協会杯少年サッカー大会

【優勝】グランディオスFC



ありがとう ありがとう 生まれてくれて

長崎県平戸市下中津良町の主婦、高野有美（ゆうみ）さん（33）が、生まれた娘への感謝の気持ちを歌詞にした楽曲「MIKOTO～結ぶ心～」が、子育てをする母親の共感を得ている。高野さんが歌声にひかれて作曲を依頼した東京在住のシンガー・ソングライター、鈴木友海（ゆうみ）さん（33）が歌唱している。

高野さんは2歳の長女、美心（みこと）ちゃんを出産後の2018年、音楽配信サイトで聴いた鈴木さんの優しく澄んだ歌声にひかれた。作詞の経験はなかったが、妊娠中の不安や誕生の喜びを同年4月から書き留め、約4か月かけて歌詞を完成させた。

会員制交流サイト（SNS）を通じ、鈴木さんに作曲を頼むと快諾された。鈴木さんは「同じ年齢で名も同じ人との出会いは運命的だった。親から子への優しい手紙に美しい曲をつけ、すべてのお母さんに届けたかった」と振り返る。

その後、鈴木さんのミュージックビデオ制作のため、高野さんは美心ちゃんと撮影した複数の写真を送付。愛情あふれる画像とともに、わずか2歳で亡くなった高野さんの弟、幸太朗さんを背負った昔の写真も送った。「大切な命を失ったことも忘れてくなかった」

「美しい心でだれからも愛されるように 幸せになってほしい そんな思いを込めてあなたの名前をつけました」。「MIKOTO」は昨年6月の配信後、歌を聴いた母親らから「曲が流れると子どもが泣きやむ」「子どもと一緒に歌う」などの書き込みが寄せられた。美心ちゃんが通う中津良保育所でも園児らが歌う。



子どもの虐待が社会問題化している状況を踏まえ、高野さんは「育児は苦悩もあるが、命が生まれることは当たり前でないことを忘れないでほしい」。鈴木さんは「曲を聴き、子を授かったときの気持ちを持ち続けてもらえれば」と話す。

「MIKOTO」は動画投稿サイト「ユーチューブ」で視聴できる。

MIKOTO
YUUMI SUZUKI

【1月30日付け 長崎新聞より】